

いじめの防止等のための基本的な方針（平成25年10月11日 文部科学大臣決定）以降のいじめの存在が報道等されている自殺事件等の例

事件概要	学校いじめ対策委員会（22条）	重大事態対処（28条）	14条3項 機関
<ul style="list-style-type: none"> 山形県 天童市立中学1年女子生徒 2014/1/7 自殺（山形新幹線にはねられる） 自宅ノートに「陰湿ないじめにあっていた」等と記載 全校アンケートで、13人がいじめを直接見聞きしたと回答（うわさを含めると全校生徒の1/4以上の100名以上が回答） 	<ul style="list-style-type: none"> 事件当時、存在せず 中間調査において、教職員は、「一人でいることが多かった」とだけでいじめを認識した者はなかったと報告 2013年6月、7月に保護者が担任にいじめとして相談（担任は9月にも女子生徒と面談機会あり） 	<ul style="list-style-type: none"> 遺族の全校アンケート結果の開示要望に対し、非開示の方針 第三者委員会の要綱について、遺族の合意等なく決定 	事件当時、存在せず
<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島県 鹿児島市立中学2年女子生徒 2014/1/8 頭・腰骨折の重症（集合住宅四階から飛び降り） 現場には「もう限界」と書かれたノート。女子生徒は「いじめの実態を調べて下さい」と事件後に訴え。 生徒の保護者も「集団で悪口を言われた」と聞いた等と証言。 	<ul style="list-style-type: none"> 事件当時、存在せず 女子生徒は担任に対し2013年11月にいじめを相談し、12月にも面談 担任は、校内の生徒指導委員会に報告せず 	(確認できた報道なし)	事件当時、存在せず
<ul style="list-style-type: none"> 広島県立 総合技術高校1年男子生徒 2014/2/24 自宅にて自殺 2013年9月以降、部屋ロッカーを荒らされるなどの被害 2014/3/26 いじめが自殺の要因の一つとの調査結果を学校が発表 	<ul style="list-style-type: none"> 事件当時、存在（名称：いじめ防止等委員会） ただし、学年主任等のみの構成（学級担任等は必要に応じ参加） 	(確認できた報道なし)	事件当時、存在（ただし、いじめ問題対策連絡協議会（14条1項）と同一組織）
<ul style="list-style-type: none"> 福岡県 私立高校3年男子生徒 2013/11/12 自殺（マンションから飛び降り） 現場のタブレット端末に「（同級生に対し）絶対に許せない」などの記載 学校の調査で教室の手すりに粘着テープで縛られたり、堅いパンで殴る等が判明（学校はいじめと断定はせず） 県警は同級生7名を、熱したおたまたまを口元に押し当てなどの一年以上にわたる暴行犯容疑で書類送検（いじめに当たるとも判断） 	<ul style="list-style-type: none"> 事件当時、存在（名称：生徒健全育成委員会） ただし、校長、教頭、学年主任のみの構成 事件については、いじめアンケートに回答もなく、カウンセラーにも相談はなかった ※現在、心理の専門家、元公立高校長等外部人材の参加による改組を検討中 	<ul style="list-style-type: none"> 学校は、弁護士や臨床心理士からなる第三者委員会を設置（2014/3/27発表） これに対し、遺族側弁護士は、委員の人手連続に遺族の要望が反映されていないと主張 遺族も、突如の報告として、推薦する弁護士の追加を要望するとしている 	資料7